

コシヒカリつくばSD1号

コシヒカリを短稈化した耐倒伏性の良食味・高収量品種

1. 育成経過

「コシヒカリつくばSD1号」は母本に「コシヒカリ」、父本に短稈品種「IR24」を交配し、「コシヒカリ」を連続戻し交配した後代からDNAマーカーにより選抜した品種である。本品種はIR24に由来する半矮性遺伝子 *sd-1* を有する。

2. 背景と狙い

「コシヒカリ」は我が国で最も作付割合が多い品種であるが、稈長が長く、倒伏し易い。このため施肥を慎重に行う必要があり、収量にも限界がある。そこで「コシヒカリ」の短稈化により、良食味で作り易く収量性の高い品種の育成を目指した。

3. 品種特性

- (1) 「コシヒカリつくばSD1号」は「コシヒカリ」を短稈化し、一方で食味は「コシヒカリ」同等の極良食味の多収性品種である。
- (2) 稈長は「コシヒカリ」より15cm程度短い(稲姿の写真)。
- (3) 出穂期は「コシヒカリ」と同等であり、作付適地も「コシヒカリ」同様である。
- (4) 育成地において、草型は偏穂数型であり、穂数はやや多い。
- (5) 育成地における生産力検定において収量は「コシヒカリ」の112%であった。また、穂数は「コシヒカリ」より1割強多く、玄米千粒重は約1g重かった。
- (6) いもち病抵抗性遺伝子型は「コシヒカリ」同等と推定される。

4. 参考情報

- (1) 品種登録関係
品種登録番号 第16007号 平成20年2月22日 登録
- (2) 産地品種銘柄設定済みの県(平成29年度)
宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、新潟県、富山県、福井県

5. 稲姿、収穫期の圃場

出穂後20日頃の稲姿



2016年8月28日 千葉県

収穫期の圃場



左：コシヒカリつくばSD1号、右：コシヒカリ

2015年9月28日 福島県

●問い合わせ先:

住友化学株式会社 アグロ事業部コメ事業推進部普及チーム

TEL: 03-5543-5786

(2018年1月)